

特集

Feature Articles

- ① 新学長が語る 帝塚山大学 「新たな歴史の始まり」
- ② 2018年4月、帝塚山大学の学部が変わります



大学生等による不登校児童生徒支援事業（→P8）に取り組む、心理学部 中地ゼミの学生たち

- 5 卒業生紹介
- 6 キャンパスレポート
- 8 学生生活 TOPICS
- 9 就職支援の取り組み
- 10 クラブ・サークル活動
- 12 各種連携 最新の取り組み
- 13 クローズアップニュース
- 15 後援会だより
- 16 帝塚山 NEWS&TOPICS
- 18 お知らせ・イベントニュース



特集

Feature Articles

1

新学長が語る

帝塚山大学「新たな歴史の始まり」

平成29年4月から、学長、副学長等の大学執行部体制が一新。新執行部の役割者にお話を伺いました。



学長
蓮花 一己 (れんげ かずみ)
博士 (人間科学)
専門分野: 交通心理学、産業心理学

4月から帝塚山大学第15代学長を拝命した蓮花一己です。新学長としての所信を述べさせていただきます。

帝塚山大学が築き上げてきた、様々な知的財産や卒業生等のネットワーク、学生たちの活力は、他大学と比べても決して引けを取りません。50年以上にわたる大学の歴史と伝統に立脚し、帝塚山大学のブランドを再構築しようと思います。教育研究を充実させ、特色化を図ることで、次の50年に向けての新たな歴史が始まると確信しています。

私は、帝塚山大学のブランドを再構築するために、ブランドイメージとして「品格」というキーワードを旗印に、「品格のあるキャンパス」や「思いやりのある学生」という特長の実現を図るつもりです。「品格のあ

るキャンパス」整備の第一歩として、環境面の充実から始めたいと考えています。奈良の歴史的・文化的遺産や豊かな住環境を活用しつつ、地域環境と共生する「環境に優しい大学」のために、「快適な空間作り」を進めます。

また、図書館や考古学研究所、附属博物館等での展示会等の企画を充実させ、大学の知的財産を洗練された文化的資産として学生や市民に提供することは、「知の拠点」としての大学の重要な社会的貢献です。こうした環境整備を進めることを通じて、大学の品格を高めるという計画を練っています。

本学の重点目標は「実学教育の実現と地域・社会のニーズに対応した人材の育成」です。「実学教育」とは、単に日常に役立つ学問ということではなく、人文・社会・自然科学を含めた実証科学の側面を有し、現実問題の解決に取り組もうとする人材を養成します。

とくに奈良県を教育研究のフィールドとして、本学が提唱する「奈良学」を中心に据えた学際的な研究を推進し、日本人の故郷と再発見し、創造する取り組みを、大学と地域が協働して行なっていきます。それにより、専門的職業人としての学生の資質向上を図るとともに、奈良および関西地域の活性化に

結び付けていきます。

ここからは、大学における取り組みをいくつか紹介します。

学生が主役の教育実践

言うまでもなく、学生の皆さんは大学の「主役」です。そして、大学教員は皆さんを「知」の世界へと導く専門的ガイドと言えます。学問の世界は広大で、深遠です。学生の皆さんが気軽に足を踏み入れても、道に迷ってしまいます。教員は、山岳ガイドのように、学生の皆さんの装備や歩き方の基本、さらにはルートの提案や気を付ける点のアドバイスや指導をしていきます。

そして、帝塚山大学のキャンパスは、教員と学生が教育・学習という共同作業を行う場(フィールド)であると、私は考えています。学生の主体的な学習の拠点として、奈良・東生駒キャンパスの図書館にアクティブラーニング・スペース「シーキューブ」を用意しています。それ以外にも、ラーニング・コモンズやリサーチ・コモンズ、学習支援室などがあります。これらのスペースでは、教員のゼミのほか自主活動グループでの発表準備や打ち合わせが可能ですし、講義の予習や復習、資格試験対策や就職対策が可能となっています。

◆ 副学長ご挨拶 ◆



入試・広報・学生生活支援担当
向井 篤弘
情報教育研究センター長

4月から副学長を引き続き拝命しました。昨年度までの担当(入試・広報)に加え、今年度より学生生活支援も担当することになりました。新学長の所信表明にもありますとおり帝塚山大学のブランドを再構築するため、全ての学生が成長し帝塚山大学での学生生活に満足して卒業していく「学生が主役」の大学をめざします。それが周りからも評価されるような広報展開、選ばれ続ける大学づくりに取り組んでいきたいと考えています。

加えて、硬式野球部、ラグビー部、女子バレーボール部、レスリング部と大学には4つの強化指定クラブがあり、上位リーグで活躍していますが、それ以外にも多くのクラブ・サークルが存在しています。学生の課外活動加入率向上、クラブ活動の一層の活性化とともに活力あるキャンパスをめざします。どうぞよろしくお願いたします。



教学支援担当
飛世 昭裕
図書館長

4月から副学長を拝命した飛世昭裕です。これから取り組むべき課題について一言申し上げ、ご挨拶に代えさせていただきます。

第一に、教学支援担当としては、帝塚山教育の充実のために、「実学の帝塚山大学」を標榜するだけの「教育の質の保証」をしっかりとできるような「学習成果の客観的指標」を確立することです。第二に、キャリアセンター担当としては、教学支援と連動させ、学生諸君の「個性」と「適性」を活かしたキャリア指導によってキャリアアップと就職活動へとスムーズに移行させ、学生諸君の「夢をカタチにする」ようなサポート体制を確立することです。そして最後に、図書館長としては、図書館を「知の拠点」とするという蓮花学長のプランを実現することです。どうぞよろしくお願いたします。

アクティブラーニングなど学生が主体の先進的な教育活動を支援して、専門・共通教育に組み込むことで「教育の見える化」の実現を心がけます。森磯吉初代学長の「子供や若い人達は学園の宝」ということは、学園教育の根本精神ですが、大学においても「学生が主役」であることをつねに念頭に置いて教育研究を進めます。

新学部の設置

平成30年度には、新たに経済経営学部を設置します。世界のポータレス化が進み、社会全体がより複雑化していく中では、「経済を理解した経営」や「経営を考えた経済」が当たり前になってきています。そのような現代社会で力強く生き抜くためには、経済学と経営学それぞれの垣根を超えた双方の専門知識が欠かせません。このような社会的背景を踏まえて、広範な知識をもとに、社会の課題を複眼的にとらえられる高度専門的人材を養成することが急務であると考え、「経済経営学部」をスタートさせることになりました。

また、同じ平成30年度に文学部文化創造学科を日本文化学科に融合します。新しい日本文化学科では、「歴史・文化財コース」「文学・表現コース」「文化創造コース」という三つのコースを設定します。学生は各自の関心に合わせてコースを選択できます。日本文学・文化学科の特色である「教養を生かした実学」をさらに強化した教育内容となっています。

さらに、平成31年度には、現代生活学部こども学科を中心とした新学部の設置を構想しています。子どもの成長・発達をサポートできる実践力豊かな保育士・幼稚園教諭・小学校教諭を養成するために、こども学科の教育をさらに充実していく予定です。学部設置を見据えて4月には就職支援センターを設置しました。同センターでは、保育士・教員採用各段階での試験対策、とりわけ面接対策を重視した訓練を行っており、個人面接、集団討議、場面指導、模擬授業などの様々な試験形態に対応して、研修が行われています。

帝塚山学園という総合学園の利点を生かして、帝塚山幼稚園や帝塚山小学校での実習や教員から研修を受ける機会も充実しています。

就職支援の更なる充実

就職実績の面では、就職率が100%に近づいていますので、学生本人や保護者の満足度を上げ、さらに優れた実績内容が求められます。学生の意欲を高め、様々な対策等のサポートを行うことで実現していきます。

そのための新たな取り組みの第一が、専門カリキュラムに就職関連科目を組み込むことです。例えば、心理学部では、「キャリア心理学」「消費者行動論」の科目がすでに設置され、それ以外に特別講義で「キャリア形成1・2」「SPI対策」などの科目も用意されており、学生にとっては就職への心構えが早期にできるという利点があります。

取り組みの第二として、外部の企業や行政の方々による「特別講座」を複数の学部で実施しています。経済学部・経営学部では、「野村證券提供講座」「近鉄グループ提供講座」「地元優良企業提携講座」に加え、「ANAN（全日空）講座」が始まります。また、法学部

では名物講座である「警察官実務講座」や「特殊講義（消防組織と消防実務）」が各府県警察の警察幹部や消防官により実施されており、学生たちは緊張感を持って受講しています。こうした特別講座を通じて、金融や行政の成り立ちや具体的な仕事の内容、専門職に必要な資質が理解でき、就職試験への準備としても貴重な経験といえます。

取り組みの第三は、企業へのインターンシップやネット活用の実践です。就職支援の企業の担当者から就職ナビ等の活用方法を実践してみるだけでなく、インターンシップの位置づけや具体的な情報収集を学びます。大学では「インターンシップ」をカリキュラムで取り込んでおり、積極的に参加を促しています。

各種プロジェクトの取り組み

帝塚山大学では、学生と教員が一緒になって、社会的課題に取り組み「プロジェクト型学習」を行っています。毎年2月には、「帝塚山大学「実学×プロジェクト」実践学生発表祭」を実施し、多くのプロジェクトの発表を行っています。こうした「プロジェクト型学習」の教育は、奈良全体を大学のキャンパスとして、初年次から現場体験型の学習を行い、実践を通じて、学生が自ら考え創り上げ、社会に発信する力を育てる取り組みです。

これからも学生諸君が参画する各種プロジェクトを通して学生の育成に努めるとともに、地域との連携による「奈良学」研究や地域活性化への取り組みを推進することで、帝塚山大学の新たな歴史への第一歩を踏み出します。

■学長補佐

今年度より新たな役職として「学長補佐」を設けることになり、このたび3名が就任しました。学長補佐は、専門的知見に基づき、特定の事項について学長をサポートすることを役割とした役職です。共通教育や国際交流に関する分野の検討は、大西智之教授（全学教育開発センター長）が、地域連携や大学連携については、菅万希子教授（経営学部）が担当します。そして、平成31年に向けての現代生活学部こども学科改組に関わる検討は、勝美芳雄教授（現代生活学部長）がそれぞれ学長補佐として担当します。



全学共通教育・国際交流担当
大西 智之
全学教育開発センター長

初年次教育やキャリア教育を含む共通教育を4年間の学びの中にも効果的に位置づけることによって社会力を養います。また、授業や学内イベント等を通じて学生の国際意識向上を図るとともに、多様な外国人留学生受け入れによって国際交流を活性化します。



地域連携・産学官連携担当
菅 万希子

この度地域連携・産学官連携担当学長補佐を拝命し、蓮花学長による「品格ある大学」という方針の下、本学の有する知の移転により、豊かで活力に溢れた地域を産学官連携で共創します。また、その現場へ学生が参加することにより、学問を基盤とした課題設定力・解決力を醸成し、優秀な人材として地域に送り出します。帝塚山大学が地域で存在感をさらにもつことに資する活動を行っていきたく考えております。



現代生活学部こども学科組織改組担当
勝美 芳雄
現代生活学部 学部長

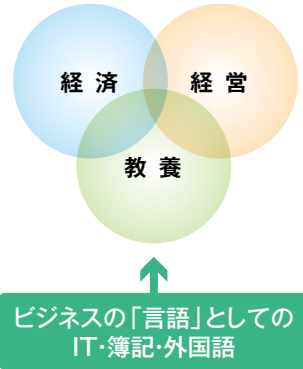
現代生活学部こども学科は、平成21年度に設置され、保育士、幼稚園教諭、小学校教諭を育ててきました。この間、幼保一体化や小学校への英語導入など、保育、教育、そして子どもを取り巻く状況は大きく変化しています。これらに対応できる組織づくりのために、こども学科の改組を進めます。

経済経営学部が始動、さらに文学部が生まれ変わる

2018年4月、帝塚山大学の学部が変わります

経済経営学部始動!

ビジネスの現場では「経済」と「経営」を別々に考えていません。さらにこれからはますますヒト・モノ・カネのグローバル化が進み、ビジネスの変革に対応するには、「経済」「経営」の知識、英語力、そして自分の得意分野を持つことが大切です。これからの社会で活躍し続ける人材を育成するために、「経済経営学部」を開設します。



① 企業人・政府機関・自治体による「実学講座」

業界の実情を業界人・専門家から学ぶことで、将来の進路を現実近づけます。

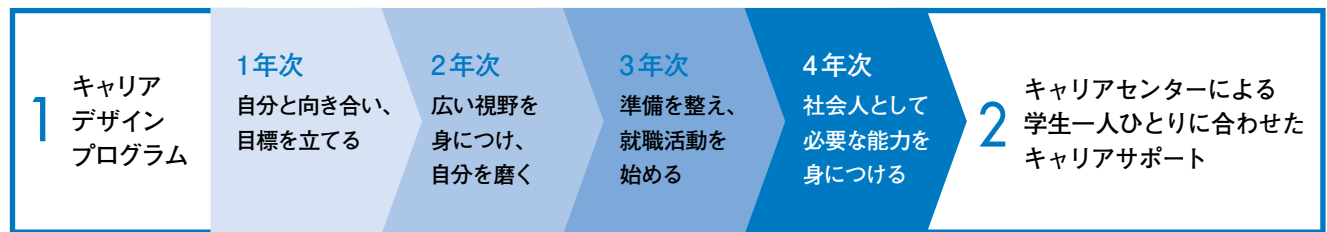
野村証券提供講座 近鉄グループ提供講座 地元優良企業提携講座 ANA(全日空)講座 など

② コミュニケーションのための英語塾を開講

「留学しないと英会話能力は身につかない」

そんなことはありません。高校までとは全く異なる学びの環境で、「話せる」「伝わる」英語を習得します。

③ 希望の進路実現のため、“徹底サポート”



経済経営学部長(就任予定) 熊谷 礼子 教授

社会が多様化・複雑化する中で、「経済」と「経営」の垣根自体が低くなってきています。ビジネスの変革へ柔軟に対応し、活躍できる人材を輩出したいと考え、「経済学部」と「経営学部」は融合することとなりました。両学部が大切にしてきた「少人数制」や「プロジェクト型の教育」はそのままに、新たに設置する「経済経営学部」では、進路に応じて「経済学」と「経営学」を適切に学べるプログラムと、これまで両学部が大切にしてきた「少人数制」や「プロジェクト型」の学習法で、現代社会に欠かせない複眼的視点を有した「将来にわたって活躍できるビジネスパーソン」を育てます。

文学部が生まれ変わる!

「歴史・文化財」「文学・表現」の2コースに、「文化創造」コースを新たに加え、「日本文化学科」が3コースにパワーアップします。日本文化の幅広い領域の中から、興味・関心に合わせて科目を自由に選択して学ぶことができます。将来の進路やスキルアップにも対応したプログラムを導入し、高い専門知識と優れた技能や資格を社会で生かせる人材を育てます。

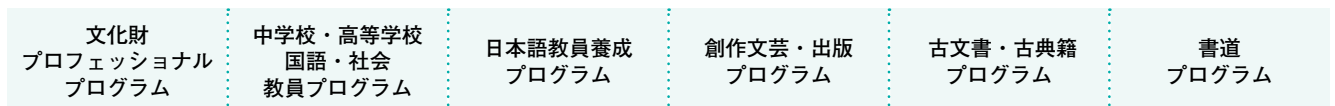
① 「教養を生かした実学」を展開する3コース

「歴史・文化財」コース
歴史学・考古学
美術史・民俗学

「文学・表現」コース
日本語学・近現代文学
古典文学・演劇

「文化創造」コース
地域文化・文化発信

② 将来の進路スキルアップに対応したプログラム



文学部長 清水 昭博 教授

2018年、文学部は生まれ変わります。これまでの「歴史・文化財」「文学・表現」コースに「文化創造」コースが加わります。また、専門家をめざすための資格取得や専門知識を高めてスキル向上をめざすための6つのプログラムを導入します。新しい文学部は、日本文化を広く学びたい人にも、深く学びたい人にも満足してもらえるようにパワーアップします。

卒業生紹介



照海 雄太さん

法政策学部 公共政策学科(現:法学部 法学科) 2013年3月卒業
 奈良県生駒郡 三郷町役場 福祉政策課 勤務

現在、三郷町役場の福祉政策課に所属しています。障害者福祉・児童福祉・生活保護等を主な業務とする課で、「児童手当」「児童扶養手当」「特別児童扶養手当」、また「身体障害者手帳・療育手帳」の交付の申請受付業務を担当しています。入庁当初から担当している業務で、住民の方一人ひとりの状況や要望をよく理解し汲み取りながら窓口業務を行っています。現在はスムーズに業務をこなせる

部分が増えてきましたが、決められた範囲のなかで住民の方のニーズに対応していくことは、非常に難しいものであると実感しています。

今後の目標としているのは、「視野」を広げることです。福祉政策課の業務は幅広く、私の担当業務も、「保育園」や「児童虐待」、「障害福祉サービス」等と関連している部分がありますので、他の業務の知識もある程度身につける必要があります。しかし、まだまだ視野が狭く担当業務と他の業務の関連性を把握できていないところもあると思います。今後は、先輩方や上司と協議を重ねる場を増やすようにし、その中から担当業務とその他の業務との関連性を見出せるよう努力する必要がありますと考えています。

就職活動に臨む後輩たちへのメッセージ

地域に根付き、地域を発展させ、住民の方のために幅広くサービスを提供できるのが行政の仕事です。そこにはもちろん苦しいことや難しいこともありますが、人の役に立ったことが肌で感じられる仕事のひとつではないかと思っています。いろいろな目標をもって就職活動に取り組んでおられると思います。是非行政の仕事にも興味をもっていただき、

その様子を覗きにきてください！特に、我が三郷町は皆さんの訪問を心よりお待ちしております！

羽曳野市立古市小学校へ着任し2年目となりました。現在は3年生のクラス担任を担当しています。2年生からの持ち上がりとなったため、この4月から顔なじみの子どもたちとのスタートとなり、担任をさせていただけただけを嬉しく思っています。現在のクラスは、3年進級時に統合されたことにより児童数が前年より増えたこともあり、新学期当初は時間に追われる毎日でしたが、子どもたちも私自身も少しずつではありますが落ち着いてきました。校務分掌は生活指導部に属し、学校内のルール整備や生活指導を担当しています。

私の大学時代の目標は、教員採用試験に合格して先生になることでした。小学校教諭となった今、これからの目標が3つあります。一つ目は、子どもたちが安心して過ごせることができるクラスづくりをすること。二つ目は、先輩の先生方から見て聞いて学び続け、教育のスキルを上げること。三つ目は、仕事を早く正確にこなすことです。これら新たな目標を持ち、校内の教員による検討会でも学習を継続し、

今後も社会人として目標に向かって頑張っていきたいと思っています。

就職活動に臨む後輩たちへのメッセージ

就職活動に臨む後輩の皆さん、自分を信じて前に進んでください。私は教員採用試験を受けるにあたり、本当に合格するのかな？と思ひ悩み、自信を無くしていた時期もありました。そんな時、私に自信を与えてくれたのは、家族や共に戦う仲間、周りで支えてくれた多くの方々です。そして、帝塚山大学の先生方の温かく手厚いご指導です。就職活動中は色々なことで悩むことになると思います。でも決して諦めないでください。



松本 彩夏音さん

現代生活学部 こども学科 2016年3月卒業
 羽曳野市立 古市小学校 勤務



01 > 現代生活学部 こども学科 教職支援センター開設

2017年4月、こども学科に教職支援センターが開設されました。教職支援センターでは、面接対策、集団討議、場面指導、小論文対策などを行い、小学校教諭、幼稚園教諭、保育士を志す学生たちの夢の実現を支援しています。4年生は本番さながらのスーツ姿で熱心に面接対策などの練習に臨んでいます。これからも併設の小学校や幼稚園の現場の先生などの力強い応援を得て、さらに徹底した支援を行っていきます。

02 > 経済学部 経済学科 経済学部生のキャリア支援と就職活動



経済学部では、1年次からキャリア支援の取り組みを開始していますが、メインは3年生と4年生です。3年生は、5月の「経済学部生のためのキャリア講座」から始まり、月に1回程度の合同授業を通じて就職活動を進めていきます。また、全員が

同じSPIのテキストを購入し、演習ゼミでの研究の合間に取り組んでいます。4年生には、キャリアセンターと連携しながら、学内企業説明会に合わせて合同演習を行うなど、その時々に必要なサポートを提供しています。このような取り組みと、学生の頑張りがあり、良い就職内定率につながっています。

03 > 経営学部 経営学科 基礎演習Iで「図書館ワーク」に取り組みました!

1年生の基礎演習Iは8クラス開講しており、この授業を履修する139名の学生が「図書館ワーク」に取り組みました。この授業では、書籍検索の仕方をマスターするだけではなく、実際に書籍を手にし、その内容に関する質問を解くことにより、書籍に対する関心を高めてもらうことが目標の一つにあります。授業は1. 一般教養クイズ、2. アイスブレイク、3. 図書館を活用したワーク、4. 振り返りといった4つのセクションで進められますが、SPIテストの問題や時事問題にもふれることで、知識面での自分の弱みを確認するとともに、ニュースに対する関心を高めることも目的としており、学生にとって就職活動に向けた実践的な体験ができる授業となりました。



04 > 文学部 日本文化学科 「教養を生かした実学」をめざして学生が 学習成果を発信しています!



日本文化学科では「教養を生かした実学」をめざして、学生が日本文化の学習成果をもとに、地域社会へ文化を発信していく取り組みを行っています。3月4日、11日に奈良市西部公民館で開催された本学と奈良市生涯学習財団共催の公開講座「奈良の魅力再

発見—歌舞伎・文楽を通して—」では、3年生が本学所蔵の浮世絵の解説を担当しました。さらに、6月3日には飛鳥遺跡探訪ツアーで3年生が遺跡のガイドを行いました。一般の方に日本文化の魅力を伝えるという場で、学生が試行錯誤しながら実践力を身につけています。

05 > 法学部 法学科 リニューアルした警察官実務講座が始まりました

現職警察官による課外講座「警察官実務講座」が今年度も始まりました。これまで実際に扱ってきた事件のことから仕事の辛さややりがい、各警察本部が抱えている課題に至るまで、実体験に基づく現職ならではの話をしていただきました。今年度からは帝塚山大学が積極的に取り組んでいるアクティブ・ラーニングを警察官実務講座にも取り入れ、現職警察官と近い距離で活発な議論を行いながら、より深く理解できるようリニューアルしました。



▶ 帝塚山大学大学院より

01 ▶ 心理科学研究科 心理科学専攻 海上交通心理学実習を行います



大学院心理科学研究科では、毎年8月に海上交通心理学実習を行います。この実習は、神戸大学大学院海事科学研究科との教育関係共同利用で、同科附属の連絡船「深江丸」で行われます。神戸大学深江キャンパスから高松港を往復航行するなかで、海上交通に関する知識や理論、防災などについて学び、さらにブリッジでの操舵なども体験します。船上実習と心理学。一見、接点がないことのように思えますが、学ぶべきことは非常に多いです。

02 ▶ 人文科学研究科 日本伝統文化専攻 古代史研究と瓦調査を両立！

博士前期課程1年の中村杏南さんは、鷲森浩幸教授の指導のもとで歴史学の立場から古代蝦夷を研究しています。また、学芸員をめざす中村さんは学部時代から本学附属博物館の資料整理や展示の手伝いにも積極的に参加し、現在は本学が所蔵する東アジアの古瓦を学生が主体となり調査研究する「TEZU 瓦プロジェクト」のリーダーとして学部生を統括し、瓦の調査を進めています。中村さんのように、古代史と瓦など、多様な学びができるのも日本伝統文化専攻の特徴といえるでしょう。



06 ▶ 心理学部 心理学科 心理学検定にチャレンジします！



心理学部では、在学生に「心理学検定（日本心理学諸学会連合認定）」の受検を奨励しており、毎年多くの学生がチャレンジしています（昨年、一昨年の心理学検定団体受検者数は全国第1位になりました）。また、学習意欲を向上させ、学部での学びの成果を客観的なものにするため、

3年次は学生全員に心理学検定の受検を指導しています。学生には、これまで身につけてきた知識を存分に発揮してもらいたいと思います。

07 ▶ 文学部 文化創造学科 地域文化の魅力発信のためのスイーツメニューを 考案・販売！

今年度の春の学園祭「あかね祭」では、本学科3年生の有志が学科での学びを生かしつつ、地域文化の魅力発信のためのスイーツメニューを考案・販売しました。今回のメニューは、地元奈良の豆腐店から提供いただいた豆腐をふんだんに使ったドーナツの上に、あすカルビーのコンポートと西吉野産の桜の塩漬けをあしらった一品で、「はるいろドーナツ」と名付けられました。お客様の反応も上々で、地元新聞にも取り上げられました。



08 ▶ 現代生活学部 居住空間デザイン学科 親子教室でこどもの造形体験をサポート



5月20日に、居住空間デザイン学科の新海俊一准教授が、本学の子育て支援センターにて行われた「親子教室」で講師を務めました。本学科からは4名の学生がスタッフとして参加しました。独特のデザインと、その完成度の確かさで世界から高い評価を得ているスイスのおも

ちゃメーカー（naef社）のつみきを用い、就学前の子どもたちは色々な形に挑戦しました。保護者の皆さんは、子どもたちにアドバイスしながら見守り、共に楽しみました。また最後に各来場者のスナップ写真をフォトフレームに入れて持ち帰っていただけるよう、撮影やプリントアウトの作業も行いました。

09 ▶ 現代生活学部 食物栄養学科 本学プロデュースの 「あすかめぐみ」の販売開始

5月1日より、奈良県あすか村にある3つの売店、あすか夢の楽市（飛鳥水落遺跡隣）、明日香の夢市（石舞台の西）、あすか夢販売所（飛鳥駅前）において、本学プロデュースのブルーベリーグミ「あすかめぐみ」を販売しています。近年、明日香村で盛んに栽培されているブルーベリーを使い、本学食物栄養学科の稲熊ゼミの学生たちが約1年間かけて試作を繰り返すとともに、学園祭での試食アンケート調査を実施し、水ようかんのようなしっかりと食べるグミを開発しました。商品名の「あすかめぐみ」は、「明日香村産のブルーベリーをふんだんに使うことでアントシアニンの効果が期待できるグミ」という意味から名付けられました。デザインは、文化創造学科の河口ゼミが担当しています。ぜひご賞味ください。



学生生活 TOPICS

本学心理学部、大学院心理科学研究科の学生たちが県内の小学校で活躍しています。



パネルディスカッションの様子

シンポジウムでは、本学心理学部の学生（2年生：亀田凌雅さん、3年生：坂上采花さん、4年生：高田莉恵さん）が、小学校におけるボランティア活動のやりがいやそこから学んだことなどを発表しました。その後のパネルディスカッションのコーディネーターを心理学部の中地展生准教授が務め、パネラーの4名（学生代表の亀田凌雅さん／天理市不登校等の親の会「いなほ」の代表者／大学生ボランティアを受け入れている小学校の教員／教育委員会の指導主事）やフロアとで活発な意見交換を行いました。

また、この事業は、単に大学生がボランティア活動をすることを推進するだけでなく、学生一人ひとりが自らのボランティア経験をしっかりと生きた学びにつなげていくことを支援することも目的としています。そのため、本学において、活動前の大学生を対象にして、「大学生ボランティア活動事前研修会」を実施して、子どもの発達や不登校に関する知識、あるいはボランティアとして求められるマナーなどを学ぶ機会を設けています。さらに、その後も月1回、定期的に研修会を実施して、活動の際の困りごとへの助言を行ったり、それぞれの活動の工夫を共有したりする支援を行っています。

平成28年度の活動は学校現場からも大変好評であり、平成29年度は、県内の小学校だけでなく、中学校にも範囲を広げます。大学生ボランティアは、困っている児童生徒に寄り添いながら、その経験を通して自らも成長していくことをめざします。

大学生等による不登校児童生徒支援事業について

平成27年度「県内大学生が創る奈良の未来事業」に、本学心理学部と大学院心理科学研究科の学生たちが、「大学生ボランティアによる不登校児童生徒支援に関する政策提言」を行い、奈良県から「優秀賞」に選ばれました。平成28年度より奈良県教育委員会と連携して「大学生等による不登校児童生徒支援事業」として本格始動しています。平成29年3月時点で、本学の学生を中心として、延べ28人の大学生ボランティアが県内の小学校25校で活動しています。

この事業の一環として、広く大学生ボランティアの活動を知ってもらうために、平成29年3月4日に「大学生ボランティアシンポジウム2017」を開催しました（於：奈良県文化会館）。当日は、奈良県在住または、県内の大学に通う大学生・大学院生、小中学校の教職員、保護者の方など約90名にご参加いただきました。



自分自身の成長につながる研修会



堂々とした亀田凌雅さんの発表

学生相談室を設置しています

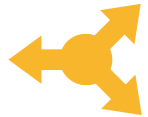
学生のみなさんがより充実した学生生活を送ることができるよう、帝塚山大学では学生相談室を設置しています。学生生活上の様々な悩みや問題について、専門のカウンセラー（臨床心理士）がお話をうかがいます。安心して本学で学べるように、継続的な支援も行っています。相談内容はどんなことでも結構です。気になっていることや困っていること等、どうぞお気軽にご相談ください。また、保護者からの学生に関する相談も受け付けています。

■ 開室時間

	奈良・東生駒キャンパス	奈良・学園前キャンパス
場 所	3号館2階	16号館8・9階（受付9階）
時間（月～金）	10：00～18：00	9：00～17：00



就職支援の取り組み



From the careers office

キャリアセンターより

就職活動は、学生が主役であることは当然ですが、本学としては保護者の方との関係も重要視し、「学生・保護者の方・大学」という三位一体の支援を展開しています。現状の報告と秋の就職支援行事を紹介しますので、保護者の皆様には、本学の取り組みをご理解いただき、学生に積極的にキャリアセンターを活用するようお勧めいただければと思います。

【3年次生行事について】

実施時期	行事
7月初旬～	初回面談
秋頃	個別面談（2回目～）
2月中旬	「学外合同企業説明会の歩き方」講座
2月中旬	学内合同業界研究セミナー
3月	【学外】企業説明会 開始

【行事についての個別説明】

【初回面談：全員必須】

履歴書作成の第一歩となるもので、今までのようなことに取り組んできたかについて面談しながら聞いていきます。

【「学外合同企業説明会の歩き方」講座】

リクナビ・マイナビなどの情報媒体会社が実施する合同企業説明会を前に、その歩き方を説明します。

【学内合同業界研究セミナー】

学内に本学学生の採用意欲が高い、大手・中堅問わず優良企業が集まり、その業界の説明をしてくれます。

就職活動には、自己分析・業界研究・企業研究が必要です。就職活動を円滑に進めることができるかできないかは、3年次生の間にどれだけの準備ができるかにかかっています。本学では、学生が主役ですが、キャリアセンターと保護者の方が連携して就職活動に臨むことを推奨しています。

【4年次生行事について】

実施時期	行事
9月初旬	学内合同企業説明会
3月初旬	学内合同企業説明会
【10月以降】毎週水曜日	学内個別企業説明会・選考会

【行事についての個別説明】

【学内合同企業説明会】

本学学生の採用意欲が高い、大手・中堅問わず優良企業が集まり、会社説明を行います。説明会・採用の流れに乗ることができ、昨年度は就職決定者の5人に1人が参加企業に決まっています。

【学内個別企業説明会・選考会】

個別企業が説明会・選考会を行います。毎年かなりの数の内定に結びついています。

【夏以降の4年次生の就職活動について】

毎年夏以降も求人がたくさん来ており、多くの学生が「内定」を獲得しています。夏休みもキャリアセンターは開室していますので、利用してください。

本学に来ている求人については、「求人NAVI」で見ることができます。春先の状況では昨年の求人数を上回る数の求人が来ています。

http://www.tezukayama-u.ac.jp/career/employment/navi_system.html

パスワードは学生に配付しています。

【保護者向け就職説明会を実施しました】

今年の末から就職活動を開始する3年次生の保護者の方々への就職説明会を実施しました。当日は95家庭の保護者の方を迎えて、ナビサイト運営会社による「今時の就職活動」の解説があり、保護者の方の時と今の就職活動の差について理解を求めました。また、キャリアセンターから本学の就職活動の支援体制について説明しました。保護者の方々からは「自分たちのときの就職活動と全く変わっていたので驚いた」「キャリアセンターの支援の話を聞いて安心した」という感想をいただきました。

次回は、12月9日（土）に実施する予定ですので、お子様の就職活動の理解のためにぜひご参加ください。プログラムとしてはキャリアセンターの活用方法の紹介と内定学生によるパネルディスカッション、個別相談を考えています。



【主な就職先】 ※日本標準産業分類による 平成28年度の就職実績は次のとおりです。【就職内定率】97.9% 【求人件数】29,144件

【建設】	【小売】	【金融】	【公務】
大和ハウス工業(株)	全日空商事デューティーフリー(株)	(株)南都銀行	大津市役所
セキスイハイム東四国(株)	グリコチャネルクリエイト(株)	(株)第三銀行	警視庁
(株)一条工務店	P&Gプレステージ(同)	(株)但馬銀行	大阪府警察本部
栗本建設工業(株)	イズミヤ(株)	(株)イオン銀行	京都府警察本部
日成ビルド工業(株)	(株)阪急オアシス	大阪シティ信用金庫	奈良県警察本部
(株)森組	(株)わかさ生活	大阪信用金庫	大阪府栄養教諭
	(株)LIXILビバ	奈良信用金庫	大阪府小学校教諭
	愛眼(株)	大和信用金庫	大阪市小学校教諭
		大同信用組合	京都府小学校教諭
		のぞみ信用組合	横浜市小学校教諭
		日本郵便(株)	広島県小学校教諭
		奈良県農業協同組合	生駒市(幼稚園教諭・保育士)
		大阪市農業協同組合	御所市(幼稚園教諭・保育士)
		日本生命保険(相)	寝屋川市役所(幼稚園教諭・保育士)
		住友生命保険(相)	藤井寺市役所(幼稚園教諭・保育士)
			八尾市役所(保育士)
			岩出市役所(保育士)
			長野県飯田市役所(保育士)

【CAREER NAVI BOOK】

就職活動を理解するための冊子として、作成しました。キャリアセンターにて配付しておりますので、ご活用ください。



【お問い合わせ先】 キャリアセンター

奈良・東生駒キャンパス

☎ 0742-48-9688

奈良・学園前キャンパス

☎ 0742-41-4751



クラブ・サークルを通して、学内外で活躍する帝大生。
学生たちの元気な姿をお届けします。

Pick up!
てづかFarm

クラブの畑で採れた野菜を食育に！

外で買ってきて家庭で食べる“中食”をする人が増えている今、それは子どもたちにも影響している——

アメリカやイギリスでは、トマトを見てポテト、なすを見て梨と答える子どもたちがいます。悲しいことにそのような光景は決して珍しくはありません。食べ物の原形を知らないのです。食べたいものを自分たちで選べる時代だからこそ、自分たちは今、何を食べているのか？なぜ食べるのか？疑問を持ち、知ることの楽しさを伝えていけたらと、私たちは考えています。

そこで、てづかFarmでは子どもたちに食に興味を持ち学んでもらえることを目的として様々な活動を行なっています。

具体的には…

- 帝塚山小学校と合同の収穫体験、バザー出店 ● JAならけんによる農業体験教室“あぐりスクール”のお手伝い
- 大学の学園祭にて収穫物を使ったスイーツの出店 他（昨年度の活動内容です。）

平成 29 年度 5 月現在、現代生活学部食物栄養学科を中心に、こども学科や居住空間デザイン学科学生の約 70 名が在籍しており、今年度から準クラブに昇格しました。 やわらかい雰囲気はそのままに、より一層活動内容を濃いものにしていけたらと思っています。（気になった方は twitter で“@tzkfarm”を検索！）



奈良・学園前 CAMPUS

児童福祉
ボランティア
どれみ♪

将来子どもと関われる職業をめざして！

児童福祉ボランティアサークル「どれみ♪」は、子どもが参加するイベントをお手伝いしながら、その中で子どもたちと触れ合う機会を得て活動しています。主に「こども学科」の学生で組織されているので、みんな子ども好きばかりです。

「どれみ♪」の活動の中で最大のイベントが「こどもクリスマスフェスタ」です。これは、部員が子どもたちのために遊びを企画し、大学内に招待して子どもたちと触れ合うという企画です。この準備のために部員は夏ごろから準備を始め、地域の幼稚園にピラ配りも始めます。イベントで、子ども一人ひとりにあった声かけや子どもを見ることで多くのことを感じ勉強できる機会となり、多くの部員が成長し、将来の夢に向かってより一層頑張ろうと思える企画です。

また、子どもに行うペープサートや絵本の読み聞かせのイベント活動の準備のために、手遊びの練習をします。これが、将来に向けての経験や技術を養えるサークルともなっています。子どもたちと触れ合いながら、多くのことを学んでいます！



奈良・学園前 CAMPUS

水泳
サークル

みんなで楽しく鍛えています！

今年度の水泳サークルは、少人数ながらも、個々のレベルが高い集まりになっています。練習では、サークル内で泳ぎの教え合いなどを行い、日々経験値を積み重ねています。今年の目標は、市大会以上の試合に出て上位入賞をすることです。

練習以外の活動として、毎年、帝塚山小学校で行われるプール授業（5月～7月）のサポートを行っています。また、現代生活学部こども学科の学生に、教員採用試験に向けた泳法指導なども行っています。部員の中には、スクールコーチの経験者も複数いるため、指導の質はかなり高いものになっています。私達、水泳サークルの活躍にご期待ください！



奈良・学園前 CAMPUS

Pick up!
レスリング部

優勝目前！ 2部リーグ準優勝『西日本学生春季リーグ戦』

5月20日～21日に堺市・金岡公園体育館で開催された『平成29年度 西日本学生春季リーグ戦大会』2部リーグに、1年生～4年生23名が出場しました。

この大会は軽量級から重量級まで7階級で戦う、総当たりリーグ戦（団体戦）です。

初日20日での2試合、関西学院大学戦では接戦を繰り返したものの、スコア3-4で敗れましたが、続く関西大学戦では、今まで相性が良くない相手にスコア5-2と圧勝しました。

2日目の21日は、常にライバル対決となる天理大学にスコア5-2と勝利を収め、最終戦となる桃山学院大学戦に臨みました。長年苦杯をなめ続けた相手でしたが、第一試合の125kg級竹内亮巨選手（経済学部4年）が勝利を飾ると、第二試合74kg級では、ルーキー喜多佳佑選手（法学部1年）が難敵に勝利し、第三試合57kg級の小寺雄大選手（法学部2年）の勝利でチーム3連勝となり、流れを掴みました。スコア3-3で迎えた最終試合、86kg級島田樹選手（法学部2年）が混戦を制しフォール勝ちを収め、スコア4-3で対桃山学院大学戦において創部以来初の勝利を収めました。

試合結果は3勝1敗で、帝塚山大学、関西大学、関西学院大学の上位3大学が勝率で並びましたが、チーム勝利数の差で、本学は準優勝となり、あと一歩で優勝を逃し、1部リーグ昇格も持ち越しとなりました。なお、2部リーグ準優勝校から選出される優秀選手賞「井川杯」は、竹内亮巨選手（経済学部4年）が受賞しました。

個人競技でありながらの今回の団体戦に向け、事前に準備を整えていました。それは本学心理学部で取り組んでいる『アドベンチャーカウンセリング』の実施。2月にマネージャーも含め全員が集まりコミュニケーションの取り方から仲間との協力を通じてチームワークを高めていきました。この活動を通して個人やグループの達成感、協力関係の大切さを体験したことが今回の好成績にもつながったのでしょうか。

12月に行われる秋季リーグ戦では、もう一歩前進し、念願の1部リーグ昇格を勝ち取りにいきます。

皆様のご声援、よろしくお願いいたします！



奈良・東生駒 CAMPUS

サッカー部

新生 帝塚山大学 サッカー部

私たちサッカー部は1年生が主体となり、本年度久々に試合の出来るメンバーが集まり基本練習を中心に毎週月・水・土曜日に活動しています。

6月3日から4日間、初大会に参加してきました。

大和高原のポスコヴィラにて関西の大学が多数集まり練習試合を行いました。結果は2勝2敗でまずまずの成績でした。この大会でチームの優れている点、不足している点を再認識できたことと、他のチームとのコミュニケーションも取れたことで有益な合宿でした。

本年度は、練習試合を多くこなし経験を重ね次年度以降リーグ戦に参加しうるチームを作っていくことが当面の目標です。

新しく活動しだしたサッカー部への熱い応援のほどよろしくお願いいたします！



奈良・東生駒 CAMPUS

放送研究会

奈良全域でON AIR

私たち放送研究会はキャンパス・学部学科関係なく様々な学生が集まっています。ラジオ局の外部指導者の丁寧な指導と充実した環境の下で「学生だけで学生によるみんなのための番組づくり」をコンセプトにしています。現在の主な活動は、校内放送や、ならどっとFMにおいて「帝塚山大学トラブルメーカー」を収録・放送すること（ならどっとFMにて毎週金曜日19:30～絶賛放送中!）「帝塚山大学トラブルメーカー」は、帝塚山大学放送研究会がお届けする、情報バラエティ番組です。学生による、学生だけの、学生らしいラジオ番組制作を心がけています。番組内容は学生同士で日常の出来事などフリートークをしたり、ラジオパーソナリティの趣味をモチーフにしたコーナーなどを設けています。

是非一度、ラジオを、ならどっとFM(78.4mhz)にあわせお聴きください。放送を聴けば、大学へ訪れたいこと間違いなしです!皆様からのご便りや曲のリクエストなどを随時、募集しております!!



奈良・東生駒 CAMPUS

各種連携 最新の取り組み

【経済学部】「プロジェクト演習(地域政策)」の履修生が、ベルテラスいこま(生駒駅北口広場)で開催されたイベントに参加しました。



子どもたちと触れ合う学生たち

経済学部では2014年6月より、奈良県生駒市で育児サークル支援、リーダー育成を行っている非営利ボランティアグループ「いこま育児ネット」との協働で親子広場「つなげてあそぼう プラレールひろば」という子ども向けの催しを定期的に開催してきました。

本年は、これまで3月30日、4月2日、28日、29日、5月25日、6月4日の計6回開催しました。

4月29日と6月4日には、経済学部のプロジェクト演習(地域政策)〔担当：高橋泰秀教授・橋本理博講師〕を履修する学生約20名が催しの運営に参画しました。

たくさんの親子連れが来場する中、学生たちは、プラレールのレイアウトを作ったり、子どもたちと一緒に遊んだり、自分たちも楽しみながら催しに取り組みました。



レールの敷き方をアドバイス



大勢の親子連れが来場されました

【食物栄養学科】帝塚山幼稚園と一緒に、食育活動を行っています。「作って食べよう!きらきら七夕ゼリー」を開催しました。



寒天を星型で抜きます、大小さまざまな星が沢山できました

食物栄養学科の学生が、帝塚山幼稚園と一緒にやっている食育活動「作って食べよう!」シリーズの一環として、6月29日に帝塚山幼稚園で食育活動を行いました。今回は年長クラスのこすもす組・たんぼ組の園児に、「きらきら七夕ゼリー」作りに挑戦してもらいました。

オリジナル紙芝居「寒天ってなあに?」で寒天を紹介した後、学生が作った寒天ゼリーを、星の形に抜いて器にいれます。天の川の星に見立てたフルーツと一緒に、シロップに浮かせてできあがり。

子ども達は上手に型を使い、たくさんのきらきら星ができてあがりました。ゼリーをほおばりながら、「好きな色はこっちのゼリー!」「おっきい星をもっといれて!」など学生とも楽しい会話がはずみました。

帝塚山幼稚園とは学生が企画する「食育」を、年間を通して行っています。本年度からは月に2~3回、学生が考えた給食献立を取り入れていただき、食べ物や栄養のお話を給食の時間に実施しています。



紙芝居で寒天を紹介



完成!お友達とみんなで、いただきました



1 ぞうり作りを学生が指導
2 クイズに参加してもらいながら進行
3 コモ編みを指導

日本文化学科の学生が帝塚山小学校で出前授業を行いました

文学部・日本文化学科の学生たちが「福住プロジェクト」の研究成果に基づいて、帝塚山小学校の社会科学の授業を実施しました。

「福住プロジェクト」では、永井清繁氏が天理市福住の暮らしを描いた

画帳について、本学日本文化学科・高田照世准教授（民俗学）の指導のもと、民俗学ゼミの学生や大学院生たちが調査を重ね、展示や文化財講演会の開催などに取り組みできました。本プロジェクトは、永井清繁氏のひ孫にあたる品川恵里さん（本学日本文化学科卒業生）が3年生のときにスケッチブックを大学で紹介したことがきっかけで始まりました。

学生たちは何度も現地へ足を運んでフィールドワークを行い、永井清繁氏の音声のテープ起こしにも取り組み、研究を進めてきました。その成果の最初の大きな発表の場となったのが、天理市文化センター「平成27年度冬の文化財展」第Ⅱ部「永井清繁氏の画帳 福住のくらしーひいおじいちゃんのスケッチブックー」（平成28年2月6日～3月6日）でした。学生たちは展示の準備・

運営を行い、文化財講演会では、「福住のくらし」の民俗事例についての説明を担当しました。こうした地域と連携した丁寧な取り組みは高く評価され、「福住プロジェクト」は平成27年度の学長表彰を受けました。プロジェクトの初代メンバーだっ

た学生の多くが卒業し、平成28年度からは3年生（現4年生）が中心メンバーとなってプロジェクトを引き継ぎました。現地での調査を重ね、福住の伝統行事や慣習について研究を続けています。

日本文化学科では「教養を生かした実学」をテーマとして、研究成果を生かした地域社会への発信にさまざまな形で取り組んでいます。そうした取り組みを牽引する「福住プロジェクト」の学生たちは、本学園の「学園内教育連携」の一環として、平成29年2月17日に、帝塚山小学校3年生の社会科学の授業を担当しました。日本文化学科の学生14名と人文科学研究科の大学院生3名が、小学3年生84名を対象に、「福住プロジェクト」の研究成果を生かして、「昔の道具と人びとのくらし」を解説しました。

画帳の画像を中心としたパワーポイントを使いながら、本学所蔵の民具なども用いて、「お正月」「けっこん式」「お月見」「虫送り」などについて説明しました。学生たちは、小学生にわかりやすく伝えるようにと、クイズ形式にしたり、農耕機具の実演では牛役の学生を登場させるなど、さまざまな工夫をこらしました。また、84名全員分のぞうりを編み込んできて、小学生に最後の仕上げを実際に体験してもらいました。当日は「福住いにしえ会」の岡田忠弘会長も福住

町に伝わる縄縫い（さんばいこ作り）をご指導くださいました。後日、帝塚山小学校から授業の感想をつづった日記の写しが届けられ、「クイズもあって楽しかった」「大学生はすごい物知りでかっこいいなと思った」「昨日から重たい道具を運んできてくれたと知って感謝しています」といったコメントに、学生たちも達成感をかみしめていました。

こうした取り組みが評価され、平成28年度も学長表彰を受けました。「福住プロジェクト」は2年連続の受賞となりました。学生にとって大きな自信となったようです。

民俗学ゼミを中心とする「福住プロジェクト」が開始した帝塚山小学校での出前授業については、中世史ゼミの学生なども参加する形で、今年度も取り組みを続けていきたいと考えています。



農耕機具の実演をまじえて解説



日本で最もよく知られる北欧デザイン
の椅子といえばこの「Yチェア」
だと言っても過言ではないだろ

う。背板の形からこの様に呼ばれる
が、本来の名称は「ウィッシュブーン
チェア」という。

作家はハンス・J・ウエグナー
(1914-2007)、「近代北欧
デザインの3巨匠」の一人とされる
デンマークの家具デザイナーであ
る。生涯に500脚以上の椅子をデ
ザインしており、中でも人気のこの
Yチェアは、中国明代の椅子にイン
スピレーションを受けたデザインと
して良く知られている。
制作当初から現在まで売れ続け

ているロングセラーの理由は、全体
のフォルムや価格、座りやすさだけ
ではない。思わず手を触れたくなる
ような温かみのある木の質感とデ
ザインが、日常生活の安らぎを思わ
せる特有の情感を持っているのだ。
それはデンマーク伝統のマイスター
制度による家具職人の技術を若い頃
に習得し、そこを出発点としたデザ
イナーならではの手の感性がなせる
デザインからくるものであり、今で
も多くの人が家庭用椅子として支
持される所以でもある。

「奈良学」への招待 日本の瓦発祥の地、奈良

文学部 日本文化学科 教授

清水 昭博

日本のいたるところにある瓦屋根
の風景。そのはじまりの地は奈良で
あった。西暦588年のこと、日本
で最初の本格的寺院として飛鳥寺(奈
良県明日香村)が建立されたとき、朝
鮮半島の百濟からきた瓦づくりの技
術者によって瓦がつくられ、屋根に
葺かれることになったのである。

をを広げ、今では日本中のどこに行っ
ても瓦屋根の風景がみられるよう
になったのである。
奈良には瓦づくりの伝統が今も息
づいている。飛鳥時代
以降、寺社の建造や修
理のなかで連続と受
け継がれてきた奈良
の瓦づくりの技術は
地元奈良だけでなく、
明治時代にはじまる
全国各地の国宝・重
要文化財建造物の瓦
の製造や修理にも活

かされている。
日本の瓦発祥の地、奈良の優れた瓦
づくりの技術が日本の屋根を支えてい
ると言っても過言ではないであらう。

各地に寺院が建立されるとともに、
仏教建築の一要素として普及した。
また、瓦の利用はその後、寺院だけ
なく、宮殿や役所、貴族や武士の屋
敷、城郭、町屋、庶民の住宅へと版図

の製造や修理にも活



奈良の瓦匠・小林章男によって制作された新潟県新発田城の鱧瓦(復原品、昭和35年、本学所蔵)

本学教員の執筆図書紹介 Teachers' Publications

TEZUKAYAMA books

石田 慎二
(現代生活学部 准教授)分担執筆

● **社会福祉 第5版**
ミネルヴァ書房
¥1,944



伊藤 範子
(帝塚山大学 名誉教授)
分担執筆

● **文学都市ダブリン**
春風社 ¥3,996



伊藤 範子
(帝塚山大学 名誉教授)
訳

● **ブラックウォーター
灯台船**
松籟社 ¥2,160



奥村 玲香
(全学教育開発センター 准教授)
分担執筆

● **アメリカの大学に学ぶ
学習支援の手引き**
ナカニシヤ出版 ¥2,592



小坂 幸三
(文学部 教授)著

● **アーミッシュとフットライト**
明石書店
¥5,400



清水 昭博
(文学部 教授)訳

● **東アジアの瓦当文化**
帝塚山大学出版会
¥3,888



清水 益治
(現代生活学部 教授)分担執筆

● **幼稚園教育要領・保育所保育
指針・幼保連携型認定こども園
教育・保育要領の成立と変遷**
萌文書林 ¥1,512



竹本 亨
(経済学部 教授)分担執筆

● **まほろばからの地方税の
ありかた提言**
奈良県 ¥2,808



蓮花 一己
(帝塚山大学 学長)分担執筆

● **交通心理学 改訂版**
放送大学教育振興会
¥2,808



後援会だよりー在校生保護者の皆様へー

From the supporters' association



大学後援会総会・大学ファミリークラブ総会・学外見学会を開催しました

5月20日、奈良・東生駒キャンパス6号館において、平成29年度帝塚山大学後援会総会が開催されました。大学後援会は、学術の研究、学生教育の援助、また会員、教職員、学生相互の親睦を図ることを目的とした組織であり、在学生の保護者の皆様全員で構成いただいております。当日は約150名の保護者の方々が出席されました。

総会の第1部では、平成28年度の決算報告の後、平成29年度役員人事や予算等に関する説明が行われ、それぞれ原案どおり承認されました。第2部では、向井副学長より学生生活における健康管理や、「実学の帝塚山大学」というスローガンに基づく学生たちの各種取り組み、多摩大学との大学連携による発表祭等の催しについて報告がありました。引き続き、牟田口文学部教授から学外見学会で訪れる東大寺についての説明が行われました。

午後からはバスに分乗して東大寺を訪れました。同日に開催された卒業生の保護者の皆様で組織いただいている、帝塚山大学ファミリークラブの皆様も合流し、グループに分かれて、文学部の教員らによる解説で二月堂や大仏殿などを巡りました。



向井副学長による大学の近況報告



文学部の教員らによる学外見学会

■保護者の皆様から以下のようなご意見・ご感想をいただきました (参加者アンケートより)

- ・主体性を持って大学生を送れば、色々な経験ができる大学であることが分かりました。
- ・学外見学会は、奈良の歴史を詳しく解説していただきながら、現地を見学できるとも興味深い催しで、これからも続けていただきたい。

「保護者教育懇談会」を開催いたします

本会は、帝塚山大学後援会の協力のもと、学生の修学支援をはじめ、就職支援、生活支援等について、保護者の皆様と教職員が面談等の交流を行うことにより、大学生生活全般について、理解を深めていただくことを目的として開催しています。

10月21日(土)

【会場】奈良・東生駒キャンパス

【対象】文学部、経済学部、経営学部、法学部に所属する学生の保護者

10月22日(日)

【会場】奈良・学園前キャンパス

【対象】心理学部、現代生活学部所属する学生の保護者

内容・タイムスケジュール

- 9:30～ 受付開始
- 10:00～ 開会・学長挨拶
- 10:10～ 全体会 [就職活動に関する特別講演会]
- 11:40～ 学科別説明会および情報交換会 [学科の特色説明、アドバイザーとの面談等]
- 13:00～ 昼食 [立食形式で、個別相談も行っております]
- 14:00～ キャンパス見学ツアー [教室やゼミ室のほかにも、学内施設をご案内します]
- 14:30 終了予定

※両日とも同じスケジュールで実施します。

※お申込みにつきましては、大学より8月にお送りする案内をご覧ください。



開会の様子(昨年度)



特別講演会(昨年度)

「3年生保護者対象就職説明会」の開催を予定しております

12月9日(土) 10:00～11:50

【会場】奈良・東生駒キャンパス

【内容】就職活動におけるキャリアセンター活用法や現4年生による就職活動体験パネルディスカッション「就職活動を振り返って」を開催する予定です。 ※詳細は、後期開講後に改めてご案内させていただきます。

▼4月1日

第54回帝塚山大学入学式、第29回帝塚山大学大学院入学式を挙

行 奈良・学園前キャンパス学園講堂において二部制で行われ、第一部で文学部、経済学部、経営学部、法学部、大学院人文科学研究科、大学院経済学研究科を、第二部で心理学部、現代生活学部、大学院心理学研究科の入学式を挙行し、新たな帝塚山ファミリアのメンバーを迎えました。



▼4月8日

新入生歓迎会を開催しました

奈良・東生駒キャンパスにおいて、執行委員会主催で開催されました。500名を超える新入生が集まり、学生会・クラブによる活動紹介やミニゲームなどが行われました。歓迎会終了後は、多くの新入生が興味を持ったクラブの部室を訪れ、先輩の話を熱心に聴くなど、これから始まる学生生活への期待感が伺えました。



▼4月8日

春の交通安全県民運動で、ミス帝塚山が一日警察署長に

奈良県警察「春の全国交通安全運動」キャンペーンにおいて、ミス帝塚山の腰山千遥さん(現代生活学部こども学科4年)が一日警察署長を務めました。奈良西警察署長から一日警察署長のタスキと委嘱状を手渡され、行き交うドライバーへ向けて、飲酒運転根絶を呼びかけました。



▼4月15日

考古学研究所・附属博物館共催連続講座

「蓮華の会」を開講

帝塚山大学考古学研究所・附属博物館は、瓦や歴史に興味をお持ちの方を対象に、市民大学講座と古瓦拓本体験を受講する「蓮華の会」を立ち上げ、第1回の開講式が行われました。受講者には今後、シンポジウムや遺跡探訪、講演会などでサポーターとしてご活躍いただきます。



▼4月20日

「球場を満員にするプロジェクト」がスタート

産官学連携「球場を満員にするプロジェクト」の授業が今年度も始まりました。初回の授業では、オリックス野球クラブ株式会社の花木聡氏を招き、本プロジェクトの過去の取り組みの概略と成果や、プロ野球ビジネスのあり方について講演いただきました。

▼4月25日

四條畷学園高等学校と高大連携に関する協定を締結

相互の教育に係る交流・連携を通じて、高校生の視野を広げ、進路に対する意識や学習意欲を高めるとともに、大学の求める学生像および教育内容への理解を深め、かつ高校教育・大学教育の活性化を図ることを目的としたものです。本学との連携協定高校は、今回で20校目となりました。



▼4月28日

「学長表彰」の授賞式を実施しました

学業や優れた活動により社会的に高い評価を受けるなど、本学の名誉を高めることに貢献した学生または学生団体が表彰され、表彰状および記念品の授与を行いました。表彰された学生は、これからも前向きに挑戦していく姿勢を見せていました。



5月

May

▼5月9日

第31回管理栄養士国家試験で7年連続、全国平均を上回る合格率を達成

平成29年3月に本学を卒業した現代生活学部食物栄養学科の91名が受験し、88名が合格。現役合格率96・7%を達成しました。

第11回あかね祭(新入生歓迎会)を開催しました

4月23日、奈良・学園前キャンパスにおいて、あかね祭(新入生歓迎会)を開催しました。11回目を迎えた今回のテーマは「story～未来への挑戦～」。

訪れる人が幸せな物語を見つけられるようにとの願いを込めて、実行委員会の学生が企画に取り組んできました。当日は好天に恵まれ、学生・教職員・地域の方々約1300名の来場者がありました。メインステージでは、吹奏楽部と合気道部がオープニングを飾り、目玉イベントの「吉本お笑いLIVE」には人気芸人が出演しました。他にも、BINGO大会やダンス、子どもが中に入って遊ぶ「ふわふわバルーン」などがあり、多くの方にお楽しみいただきました。また、学生による模擬店や展示も賑わいを見せました。同時開催された帝塚山短大ホームカミングデーには、多くの卒業生が訪れ、キャンパスが大盛り上がりの日でした。



▼5月29日～6月2日

「世界禁煙デー」に合わせ校内で禁煙キャンペーンを実施

たばこによる健康被害にあらためて関心を持ってもらうため、学生と教職員による禁煙キャンペーンを実施しました。それぞれのキャンパスで肺年齢測定や禁煙相談などを行い、訪れた学生に禁煙あめを配付しました。また、保健師の方を招き、参加者の呼気中の一酸化炭素の測定や、禁煙指導も行いました。



6月

▼6月2日

「こころとからだをつなぐワークショップ」を開催

奈良・学園前キャンパスにおいて、本学こころのケアセンター主催で行われました。センター長である神澤創教授(心理学部心理学科)が、心理学の立場から「こころ」と「からだ」の関係について講演し、太極拳をベースとした体操を30名の参加者と一緒にしました。



▼6月11日

オープンキャンパスを開催

奈良・学園前キャンパスで開催され、500名を超える高校生や保護者の方が参加されました。「キャンパスガイドンス」や「入試説明会」は会場が満席となる盛況ぶりとなり、「先輩とトークDEカフェ」や「キャンパス見学ツアー」では、高校生と在学生が楽しく談笑する姿も見られました。



▼6月23日

株式会社日本政策金融公庫と地方創生にかかわる産学連携の協力推進で覚書を締結

相互に協力して地域の産学連携を推進し、地域社会の発展に貢献することを目的とし、株式会社日本政策金融公庫と覚書を締結しました。奈良県の大学では初めてとなる締結式では、日本政策金融公庫奈良支店の上村誠支店長と蓮花一己本学学長が協定書に押印しました。



6月29日～7月2日

女子バレーボール部が西日本インカレ決勝トーナメント進出

広島県総合体育館で開催された第43回西日本バレーボール大学女子選手権大会において、見事決勝トーナメントに進出し、1勝1敗の成績で大会を終えました。

多摩大学との大学連携による各種取り組み紹介

■第5回帝塚山大学「実学×プロジェクト」実践学生発表祭を開催

2月18日、奈良・東生駒キャンパスにおいて、第5回 帝塚山大学「実学×プロジェクト」実践学生発表祭を開催しました。日頃の研究成果を発表し、学生相互に活発に議論しあい、より学びを深めていくことを目的としたもので、本学学部生・大学院生の発表に加え、学術交流に関する包括協定を締結している多摩大学(東京)と、高大連携に関する協定を締結している奈良県立奈良情報商業高等学校による招待発表がありました。

各チームが多岐にわたる発表を行い、本学と多摩大学が地(知)の拠点として積極的に取り組んでいる状況がみられました。発表後の質疑応答においては、教職員・学生から積極的に質問・意見が出され、発表者はそれに真摯に答え、常に会場は熱気にあふれていました。

終了後に行われた懇親会では、産学連携によって本学学生が開発に携わった「帝塚山タルト」「大和ベジサイダーあかね・まな」を試食・試飲するなど、参加者同士が発表に関して意見交換を行い、友好を深める様子が見られました。



質疑応答の様子

■多摩大学と「地域アクティブラーニング」を開講しました

本学経営学部で開設する「特殊講義(地域アクティブラーニング)」[担当:日置慎治教授・冨田新准教授]は、学術交流に関する包括協定を締結している多摩大学との連携協定に基づき共同開発し、共同実施する授業です。

今年は、経営学部の学生4名が多摩大学の学生たちと共に7月9日から11日までの3日間の日程で三重県を訪れ、三重県の中堅企業および観光振興の現場を訪問し、ヒアリングを行うことで、地域中堅企業から地方創生のあり方、国内産業のあり方および自分自身のキャリア形成のあり方について自主的な研究を行いました。

今年の授業では、Facebookを活用し、学習成果の確認と相互学習を目的として毎日1回以上、Facebookに写真と感想の投稿を義務付けるなど特徴的な授業となりました。有力企業への訪問とヒアリング、地域観光資源の発掘、積極的な地域の方々との交流を中心としたフィールドワークを実施し、学生たちは、首都圏以外での活躍の選択肢を含め、地域産業やキャリア形成に関する視野を広げることができたようです。



地元企業の方々による特別講義の様子

織物講座 第一期生募集



社会人の学び直しの一環として、織物に関する歴史や奈良の伝統産業である「奈良晒」や「大和機」の知識を深めるとともに、本学所蔵の「織機」を実際に用いて複数の織物技術を習得し、奈良の地域振興の活性化に貢献する人材を育成することを目的とした織物講座を開講します。講座修了者には、学校教育法第105条に基づく履修証明書「帝塚山大学織物マイスター初級」を発行します。

講師：植村 和代（帝塚山大学名誉教授）

澤田 絹子（元帝塚山大学非常勤講師）

定員：選考16名（書類審査・面接による選考）

会場：奈良・学園前キャンパス 授業方法：講義および実習

開催期間：平成29年10月3日（火）～平成30年1月17日（水）

受講料：15万円（税込、教材費含む） 出願期間：9月1日（金）まで
申込方法等の詳細は本学HP（<http://www.tezukayama-u.ac.jp/>）をご確認ください。

【お問い合わせ先】

帝塚山大学 総務課 織物講座事務局

Tel 0742-41-4716（月～金 9時～17時） Fax 0742-41-4717

Museum Announcements

博物館からのお知らせ

第29回特別展示

「ANIMAL KAWARA ～瓦のなかの動物たち～」

本学附属博物館では、日本をはじめとした東アジア各地の古瓦約7,500点を所蔵しています。今回の特別展示では古代の人々が瓦に造形した個性あふれる動物たちを紹介します。



【期間】11/18(土)～12/23(土・祝)

【開館時間】9:30～16:30

【入場料】無料

【休館日】日曜・祝日

※11/19(日)・12/23(土・祝)は開館、11/20(月)・23(木・祝)は休館

【展示解説】11/18(土)・12/2(土) 11:00～

12/9(土) 15:45～（公開講座終了後）

第11回企画展示

「仏教美術のスズメ I ～仏像のみみつ～」

本学が所蔵する仏教美術の中から仏像を取り上げ、込められた願いや作風の特徴、篤い信仰の下に修理されてきた歴史などを紹介します。仏教美術に対する興味や関心、文化財を守り伝える心を持つきっかけにさせていただきたいと思えます。



【期間】10/2(月)～11/3(金・祝)

【開館時間】9:30～16:30

【入場料】無料

【休館日】日曜・祝日

※10/9(月・祝)・11/3(金・祝)は開館

【展示解説】10/14(土)・28(土)

15:45～16:15

10/17(火) 13:30～14:00

August-December

INFORMATION & EVENT NEWS

お知らせ・
イベントニュース

夏季一斉休業のお知らせ

帝塚山大学は、8月11日（金）～8月17日（木）まで、夏季一斉休業期間となっています。お電話、メール等のお問い合わせにはお応えできませんので、あらかじめご了承ください。メールやホームページからのお問い合わせに対しては、一斉休業終了後に順次対応させていただきます。

Public lecture

公開講座

帝塚山大学考古学研究所・附属博物館共催 市民大学講座

申込不要 聴講無料

第390回 10月14日（土）14:00～15:30

近江の仏教美術と博物館

講師：和澄 浩介氏（滋賀県立近代美術館学芸員）

第391回 10月28日（土）14:00～15:30

狙われる仏像—仏像盗難被害の現状と対策—

講師：大河内 智之氏（和歌山県立博物館主査学芸員）

第392回 11月11日（土）14:00～15:30

市民大学ウォーク⑥

金剛山麓の古代寺院を歩く

講師：清水 昭博（帝塚山大学考古学研究所長・附属博物館長）

会場：奈良県御所市地域 定員：抽選30名

要申込
※本講座のみ・
9月以降受付

第393回 11月25日（土）14:00～15:30

弥生絵画のなかの動物たち

講師：深澤 芳樹氏（元・奈良国立文化財研究所副所長）

第394回 12月2日（土）14:00～15:30

埴輪のなかの動物たち

講師：千賀 久氏（葛城市歴史博物館長）

第395回 12月9日（土）14:00～15:30

瓦のなかの動物たち

講師：清水 昭博（帝塚山大学考古学研究所長・附属博物館長）

会場：奈良・東生駒キャンパス2号館2101教室（第392回除く）

【お問い合わせ先】

帝塚山大学考古学研究所・附属博物館

〒631-8501 奈良市帝塚山7-1-1

Tel 0742-48-9700 Fax 0742-48-8783

考古学研究所：<http://www.tezukayama-u.ac.jp/social/institute/arch/>

✉ arch@tezukayama-u.ac.jp

帝塚山大学奈良学総合文化研究所

奈良学への招待XVII「大和の地と人」

申込不要 聴講無料

第1回 10月28日（土）10:30～12:00

【演題】筒井定次と伊賀上野城下町

講師：渡辺 康代（帝塚山大学文学部非常勤講師）

第2回 11月4日（土）10:30～12:00

【演題】古代の大和における馬銅と牧

講師：鷲森 浩幸（帝塚山大学文学部教授）

第3回 11月11日（土）10:30～12:00

【演題】五條市からみる近世史（仮題）

講師：岩井 洋（帝塚山大学文学部教授）

第4回 11月25日（土）10:30～12:00

【演題】奈良と能二題

講師：恵阪 悟（帝塚山大学文学部講師）

定員：各回100名 会場：奈良・東生駒キャンパス1号館1301教室

【お問い合わせ先】帝塚山大学 奈良学総合文化研究所

〒631-8501 奈良市帝塚山7-1-1

Tel 0742-48-8842（火・木・金 9時～17時）

Library Announcements

図書館からのお知らせ

ライブラリーバッグの貸出をはじめました。

もっとたくさんのお本や大きな本も借りたければ自分のカバンに入らない…そういった声にお応えすべく、ライブラリーバッグの貸出をはじめました。

大きさは、A4サイズが楽々入るトートバッグとハードカバーの本が数冊入る、ミニトートバッグの2種類。色はそれぞれ、紺と白があります。

両キャンパス図書館カウンター前に置いてありますので、利用希望の方は、借りたい本と一緒にカウンターまでお持ちください。バッグの貸出期間は、図書の貸出期間と同じです。ライブラリーバッグを利用して、さらに図書館を活用してください。



第11回企画展示 関連講座

「やさしい仏像講座」

要申込 聴講無料

第1回 10月6日(金) 14:00～15:30

「お釈迦さまのひみつ」 定員：30名

第2回 10月14日(土) 11:00～12:30

「仏像のひみつ」 定員：30名

第3回 10月20日(金) 14:00～15:30

「ちょこっと学芸員－仏像調査体験－」 定員：10名

講師：戸花 亜利州(帝塚山大学附属博物館学芸員・文学部講師)

会場：附属博物館講座室

※申込方法等の詳細は決まり次第、附属博物館HP上でお知らせいたします。

【お問い合わせ先】

帝塚山大学附属博物館

〒631-8501 奈良市帝塚山7-1-1

Tel 0742-48-9700 Fax 0742-48-8783

http://www.tezukayama-u.ac.jp/museum/

General Affairs Division Announcements

総務課からのお知らせ

奈良・東生駒キャンパスと奈良・学園前キャンパスに「クリエイティブ・commons」を新設しました。

両キャンパスのクリエイティブ・commonsに共通する設備として、高度な画像処理や図形編集などを行えるハイスペックな機能を搭載したパソコンを常設し、学修成果の発表や展示などで使用する大型ポスター作成のためのプロッターや専用の裁断機、ハンドブックや冊子の作成に必要な製本機などを整備しました。これらに加え、奈良・東生駒キャンパスにはプロジェクターによる投影も可能なホワイトボードを設置し、奈良・学園前キャンパスにはデザイン関係の学科があることから、布地に印刷ができる機器を導入しています。今後、ゼミナールを始めとした研究発表の事前準備の場として、クリエイティブ・commonsを開放すべく、運用ルールを整備していきます。



クリエイティブ・commons 1
(奈良・東生駒キャンパス 図書館3F北側)



クリエイティブ・commons 2
(奈良・東生駒キャンパス 図書館3F南側)



クリエイティブ・commons
(奈良・学園前キャンパス 16号館7F)



布地印刷用の機器類
(奈良・学園前キャンパス)

同窓生の皆様へ ホームカミングパーティ開催のお知らせ

平成29年11月19日(日)に帝塚山大学 奈良・東生駒キャンパスにて『第6回ホームカミングパーティ』を開催します。大学祭「虹色祭」開催中の母校で、懐かしの恩師・同窓生と一緒に学生時代にタイムスリップしませんか。

同窓生の皆様お誘い合わせのうえ、ふるってご参加ください。

詳しくは、同封の案内チラシをご覧ください。



第5回ホームカミングパーティの様子



虹色祭(昨年度)

訃報 謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

大学人文科学部(現文学部)准教授、学生部次長を務められた北 正弘先生が、平成29年6月18日、享年75歳にて永眠されました。





国際交流

● 大学の国際交流

● 大学の国際交流プログラムでは、奨学金や学費免除、単位認定など充実の支援体制を展開しています。帝塚山大学の重点方針「地域と国際社会に開かれた大学」を実現するために、語学力の向上だけでなく、各国の文化や人に触れ、世界で活躍できる国際的視野を持った人材育成に力を入れています。

● 留学制度 休学せずに留学期間中の学費が免除のうえ、本学独自の奨学金を受けて留学が可能な「海外留学奨学生制度(正規留学1年間)・(語学留学6ヶ月)」と、夏季または春季の休暇中に実施する「海外短期語学研修制度(約1ヶ月)」があります。

● 海外協定大学 欧州、北米、アジア、オセアニアの4大陸6カ国13大学と協定を結んでおり、学生の希望に合わせた留学が可能となっています。

● 外国人留学生 9つの国と地域から170名の留学生が阿キャンパスに在籍しており、日本人学生と一緒に授業を受けたり、留学生交流会などを通して、日本に居ながら異文化交流が図れる環境が整っています。

● 参加学生の感想 ニュージーランド(クライストチャーチ工科大学) 英語が苦手でも自分から進んで話しかけ、可能な限り英語にたくさん触れ、話すことが大切なことだと実感しました。

● 参加学生の感想 ス페인(バリャドリ大学) この語学研修は、スペイン語の学習だけではなく、集団行動での一人ひとりの行動の責任や仲間との協力、生活習慣の違いの実感など、様々な体験ができました。



上: Universidad de Valladolidの授業を終えて
下: Sagrada Familia見学



上: Avon Riverでカヌー体験の後に
下: Rubicon Valleyで乗馬体験



2018年度 帝塚山大学 ファミリー入試のご案内

一 来春、受験を控えたご子息ご息女をお持ちの保護者の皆様へ

帝塚山大学では、卒業生、もしくは在学中の方のご家族を対象とする入試制度「ファミリー入試」を実施しています。

ファミリー入試とは、帝塚山学園の建学の精神・学風を深くご理解いただき、共に帝塚山大学のファミリーとしてお力添えをいただける方のご入学を歓迎する入試制度です。出願資格は、学校法人帝塚山学園が設置するいずれかの学校(幼稚園、小学校、中学校、高校、大学、大学院、短期大学)の卒業生もしくは在校生・在学生の2親等以内の親族で、本学が定める基準を満たし、高等学校を2017年4月1日から2018年3月31日までに卒業された方または卒業見込みの方です。
*出願の際には「帝塚山ファミリー」であることの証明書(卒業証書の写し・卒業証明書等を添付)が必要です。

選考方法: ①面接②書類審査(調査書・志望理由書)

詳しい出願資格や要件等に関して、必ず事前に入試課までお問い合わせください。オープンキャンパスにご参加のうえでお問い合わせいただくことも可能です。

【お問い合わせ先】

帝塚山大学 入試課

TEL 0742-48-8821(直通) FAX 0742-48-9021
✉ nyushi@jimu.tezukayama-u.ac.jp

募集学部学科

学部	学科	募集人数
文学部	日本文化学科	若干名
経済経営学部*	経済経営学科*	
法学部	法学科	
心理学部	心理学科	
現代生活学部	食物栄養学科	
	居住空間デザイン学科 こども学科	

*2018年4月開設

前期スケジュール

出願期間	2017年9月19日(火)~10月2日(月)(消印有効)
試験日(面接)	2017年10月7日(土)
合格発表	2017年10月13日(金)
1次手続締切日(入学金納付)	2017年10月30日(月)

後期スケジュール

出願期間	2017年11月20日(月)~12月9日(土)(消印有効)
試験日(面接)	2017年12月16日(土)
合格発表	2017年12月20日(水)
1次手続締切日(入学金納付)	2018年1月12日(金)

3月スケジュール

出願期間	2018年2月26日(月)~3月9日(金)* (消印有効)
試験日(面接)	2018年3月14日(水)
合格発表	2018年3月15日(木)
入学手続締切日(入学金・前期授業料等納付)	2018年3月22日(木)

*3月10日-12日のみ願書窓口受付可

入学金について

ファミリー入試でご入学される方は、入学金が6万円になります。
(通常 18万円)

OPEN CAMPUS 2017

奈良・東生駒キャンパス

8/6(日)
11:00 ~ 16:30

クラブ・サークル大解剖!

奈良・学園前キャンパス

8/26(土)・27(日) 11:00 ~ 16:30

26日(土) 経済経営学部 特別プログラム「ANA特別講座」
27日(日) 保護者のための進学相談会

奈良・東生駒キャンパス

9/10(日) 13:00 ~ 16:30

出願に向けた特別プログラム
(面接対策講座/出願のてびき)

学科体験授業や施設見学、入試説明、在学生との交流など、さまざまなイベントを用意しています。【予約不要】

入試対策講座

(奈良・学園前キャンパス)

10/8(日) : 12/23(土・祝)

公募制推薦入試対象 : 一般入試対象
9:30 ~ 13:00 : 13:00 ~ 15:30

【予約不要】



大学通信 帝塚山

University Letter No.41
2017.07.25

「大学通信帝塚山」企画・編集委員会

〒631-8501 奈良市帝塚山7-1-1 TEL 0742-48-9192 FAX 0742-48-6092

✉ koho@jimu.tezukayama-u.ac.jp

URL : http://www.tezukayama-u.ac.jp/



学校法人 帝塚山学園